

第8章 未来へのリーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトは、基本構想に掲げる将来像「**つながり はぐくみ 未来織りなす 彩り豊かなまち にしわき**」の実現を目指して、重点的かつ戦略的に取り組む施策群であり、基本計画に定める様々な取組をけん引する役割を担うものです。

人口減少や少子高齢化の進行、地域経済の低迷といった厳しい社会環境の中、本市においては、新庁舎・市民交流施設の整備という大きな決断をしました。この未来への投資を起爆剤とし、地域全体へと波及させていくことで、将来にわたって活力ある地域社会を築いていこうとする全庁的な取組をリーディングプロジェクトとして位置付けます。

にしわき未来づくりプロジェクト

～ 新庁舎・市民交流施設からハグクムまちの未来 ～

プロジェクトの背景と概要

本市は、播州織の興隆を背景として、早くからまちなか※に都市機能が集積し、周辺地域に都市機能や居住空間を拡大しながら自然と調和した田園協奏都市を形作ってきました。

しかしながら、本格的な人口減少時代を迎え、社会環境が変化する中で、まちの姿や人々の暮らしも大きく変わろうとしています。

～高齢化と長寿化～

高齢化の進行や高齢者のみの世帯の増加などにより、健やかな心身の維持・増進や高齢期の暮らしに不安を感じる人が増えています。その一方で、人生100年時代と呼ばれる長寿化の進行に伴って、より豊かに人生を送りたいと願う人が増えています。

～都市のスポンジ化～

人口減少に伴う地域経済の縮小が進行すると、商業や医療などの日常生活を送る上で必要な機能が失われていきます。これは、都市機能が集積するまちなかにおいても同様であり、都市のスポンジ化が一層進行することで、商業、医療などの都市機能が失われていくことが懸念されます。

～地域コミュニティ～

ライフスタイルの多様化などを背景に、地域コミュニティの力が弱まりつつあります。また、地域活動の担い手の高齢化や後継者不足などにより、その持続性を確保していくことが難しくなっています。

※まちなか

中心市街地。西脇市まちなか（中心市街地）活性化計画では、（都）西脇上戸田線と（都）和布郷瀬線の沿道に広がる市街地を中心とした地域を「まちなか」と呼称している。

そこで、これらの地域課題を解決し、豊かな地域社会を築いていくことを目指して、「健幸」「まちなか」「つながり」をキーワードとした3つのミッションを設定し、取組を進めていきます。

Mission①「健幸」ハグクム

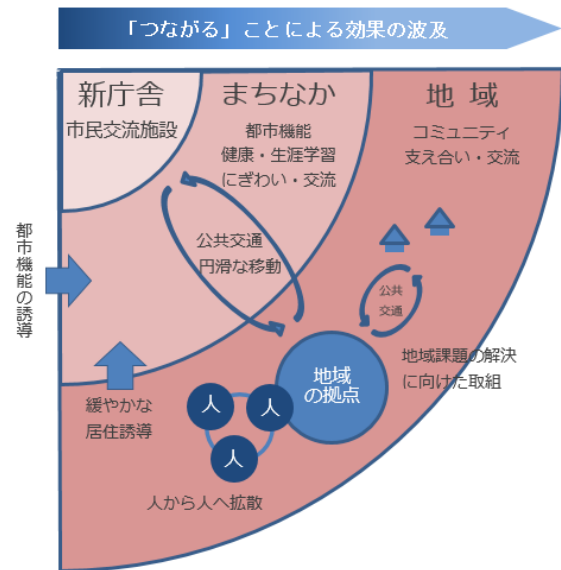
新庁舎・市民交流施設などを拠点として、健康づくりに取り組む新たな層の掘り起こしを進めるとともに、長寿化社会にふさわしい生涯学習環境を築いていきます。そして、個々の体験や活動が、各地域のコミュニティを通じて広く拡散されることで、全ての市民が健やかにいきがいを持って心豊かに暮らす「健幸」なまちづくりを推進します。

Mission②「まちなか」ハグクム

まちなかの低密化を抑止し、都市機能を集約・維持することで、市全体としての生活機能を確保していくとともに、意欲ある事業者や様々な活動の担い手が集い育まれ、地域特性を生かした個性的な店舗や情報発信の拠点などが生まれることで、活気とにぎわいを創出していきます。

Mission③「つながり」ハグクム

課題を解決し、豊かな暮らしを支えようとする人と人の「つながり」を基盤とした地域活動を支援するとともに、まちなかと各地域がつながり、まちなかの活力が各地域へと伝播していくことで、まち全体の暮らしを豊かにしていくことを目指します。



プロジェクトの展開手法

- ・ 予算、人材、資産などの経営資源を重点配分するとともに、総合的、横断的に取り組むための柔軟で機動性の高い組織づくりを行い、行政の総合力を発揮するための効果的な推進体制を構築します。
- ・ 市民、関係団体、事業者などとの連携・協働により推進し、市全体で取り組む体制を構築することで、着実な前進を実現します。

プロジェクトの展開方針

Mission① 「健幸」ハグクム

- ・市民交流施設等を拠点として、医師会をはじめとした関係団体と連携し、生活習慣の改善や健康づくりへの意識醸成に向けた取組を進めます。
- ・市民交流施設等において、健康づくり活動の見える化の推進や情報発信の強化に取り組み、健康づくりを楽しむ新たな層の掘り起こしを進めます。
- ・文化・芸術などと出会い、豊かな心を育む場となる市民交流施設や、より質の高い文化・芸術を体感できる市立音楽ホール「アピカホール」などにおいて、関係団体などと連携した様々なイベントなどを開催します。
- ・市民交流施設、公民館、生活文化総合センター等の各拠点が相互に連携し、生涯を通じた学びを促進し、いきがいを感じられる生涯学習事業を推進します。
- ・それぞれのライフスタイルに応じた気軽な運動を促進するため、まちなかなどにウォーキングコース等を設定します。
- ・地域での健康づくりや生涯学習、いきがいづくりなどを支え、促進する人材の育成を図り、地域における多様な活動の活性化と拡散を支援します。

→【関連政策】

第5章－政策1「健康づくり習慣の定着を進める」

第5章－政策4「生涯スポーツを振興する」

第5章－政策2「健康を支える地域づくりを進める」

第5章－政策5「文化・芸術を振興する」

第5章－政策3「生涯学習を充実する」

Mission② 「まちなか」ハグクム

- ・インキュベーション施設や空き家・空き店舗などの利活用支援をはじめ、様々な起業・創業支援を行い、商業機能などを創出することで、人が集うとともに、歩きたくなる空間づくりを行います。
- ・新庁舎・市民交流施設におけるまちなか案内機能の設置や播州織に親しめる空間の整備など、情報発信や観光交流機能の充実を図ります。
- ・新庁舎・市民交流施設やその周辺において、地域活性化や文化振興などを目的としたイベントを開催するなど、まちなかへの集客やにぎわいの創出を目指した事業を行います。
- ・童子山公園、杉原川などの自然空間や歴史的な建築物、疎水などのまちなかの特色ある資源を生かした魅力ある景観づくりを進めるとともに、市民や関係団体が主体となった地域資源を生かした観光交流や文化振興などの取組を支援します。
- ・空き家などの除却や適正管理を進めるとともに、空き地を活用した休憩スペースや緑化スペースの整備を進めます。

- ・まちなかの東西軸となる（都）西脇上戸田線の整備を促進するとともに、南北軸となる（都）和布郷瀬線の事業化に向けた取組を進めます。
- ・多様なライフスタイルの実現と多世代交流などを促進するため、市営住宅の居住誘導区域内への再編や若年層などのまちなか居住を推進する支援制度について検討します。
- ・行政機能、医療機能、福祉機能、商業機能などの様々な都市機能について、まちなかに設定する都市機能誘導区域に誘導・集約・維持を進めます。

→【関連政策】

第3章－政策2「道路を整備する」

第4章－政策4「観光・交流を振興する」

第3章－政策6「魅力ある市街地をつくる」

第4章－政策5「新たな産業を創出する」

第3章－政策8「快適な住まいづくりを進める」

第5章－政策5「文化・芸術を振興する」

第4章－政策1「地域に根ざした商工業を振興する」

Mission③ 「つながり」ハグクム

- ・新庁舎・市民交流施設において、居心地の良いカフェやロビー空間などを創出し、多世代が集い、つながる居場所づくりを進めます。
- ・地域課題の解決に向けて取り組む市民、関係団体、事業者などの多様な主体をつなぎ、支援する中間支援機能を担う組織づくりを進めます。
- ・時代とともに培われた文化・芸術を次世代につなぐため、活動を担う人材の育成を支援するとともに、子どもが文化・芸術に触れる機会などを創出します。
- ・多世代交流の促進や地域での見守り活動、生活機能の確保など、様々な地域課題の解決に向けた取組を行う、住民同士のつながりに根ざした地域自治組織の活動を支援します。
- ・地域自治活動を次代へつないでいくため、人材の育成や地域自治協議会の設立・運営、コミュニティビジネスへの展開などの取組を支援します。
- ・大学生などの外部の若者が地域や住民とつながることで地域が活性化することを目指し、大学による地域活動の拠点づくりや域学連携の取組などを支援します。
- ・都市機能が集積するまちなかと周辺の各地域をつなぐ「デマンド型交通」やまちなかを起点に市街地の各拠点を結ぶ「まちなか循環バス」を運行し、利用促進を図ります。

→【関連政策】

第3章－政策3「公共交通を整備する」

第5章－政策5「文化・芸術を振興する」

第3章－政策6「魅力ある市街地をつくる」

第6章－政策2「持続可能なコミュニティをつくる」